

8-4-3 I T S 専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を9回（4、5、6、7、9、10、11、12、1月）開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した（WGの月次報告、指示事項の周知・対応等）。

(2) 勉強会・活動報告会

ビッグデータ、次世代モビリティをテーマに、有識者2名（東京都市大学工学部都市工学科今井准教授、株式会社rimOn0（リモノ）代表取締役社長伊藤様）をお招きし、ご講演いただいた。ビッグデータに関しては、移動データやSNS情報を相互に繋ぎマクロ・ミクロに活用する際の考え方や技術について、次世代モビリティに関しては、海外でのモビリティの状況や日本における課題、スマートシティについてご講演を頂くと共に、協会会員企業からの参加者を交えたディスカッションを実施した。

(3) WG活動

a) ITSに関わる最新情報の収集、整理

全国各地での自動運転の実験等、ITSに関わる新たな取組みが行われている中で、ITSに関連する施策、技術等の最新動向を整理し、今後の建設コンサルタントとしての取組み可能性を検討することを目的に、今年度から本WGを設立した。

今年度は、国や自治体、民間により様々な実証実験が進められている自動運転に着目し、関連する政策の動向、自動走行に必要な技術開発の動向、実証実験を行っている主体や地域、内容等について情報収集を行い、自動運転の実現に向けた課題と建設コンサルタントが担うべき役割について整理した。

b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでいるビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を、ビッグデータを扱う事業者との意見交換や関連イベントへの参加を通して調

査し、活用が想定される具体的なデータの種類や技術、データ活用時の課題等について整理した。

- ・ 様々なビッグデータや関連技術の事例整理（オープンデータ、SNS、画像処理、AI）
- ・ ビッグデータに関する最新技術動向
- ・ OD調査・PT調査へのビッグデータの活用可能性の検討

c) ITSを活用した次世代モビリティに関わる調査

インバウンド戦略により増加する外国人観光客や歯止めのかからない少子高齢化等の社会変化の中で、人の移動が多様化している。このような状況の中、混在するパーソナルな移動体（自転車、超小型モビリティ等）について整理して課題を抽出するとともに、今後の新たな移動体の動向や課題解決に向けた方向性等について検討を行った。

- ・ 現状の様々なモビリティの実体と課題の整理（シニアカー、超小型モビリティ、シェアサイクル、電動アシストカーゴバイク等）
- ・ MaaSにおける自転車利用の状況の調査
- ・ 最新技術動向の調査（個人車両の活用、ドローン自動車）
- ・ 次世代モビリティに関する今後の課題の整理

2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・ 技術委員会からの指示事項への対応や関連委員会、SWG等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催

（ITS専門委員会委員長 松本 章宏）